

大会プログラム

第1日目 4月22日(土)

11:00	理事会・評議員会	
12:15~13:15	南山大学人類学博物館見学(自由参加) 案内:黒澤 浩 [1回目] 12:15~12:45 [2回目] 12:45~13:15	
13:30	開会の挨拶 会長・吉田 憲司 当番校 人類学研究所所長・渡部 森哉	
13:45~16:35	シンポジウム 司会:宮脇 千絵	
13:45~13:50	趣旨説明	宮脇 千絵(文化人類学)
13:50~14:15	ファッション展と民族衣装-アメリカのミュージアムを中心に	平芳 裕子(表象文化論)
14:15~14:40	断片化する民族衣装:収集から展示までの過程に着目して	佐藤 若菜(文化人類学)
14:40~14:50	休憩(10分)	
14:50~15:15	文化学園服飾博物館における「民族衣装」の展示	村上 佳代(服飾)
15:15~15:40	衣の民具とキュレーション-展示における自己と他者	加藤 幸治(民俗学)
15:40~15:55	コメント	杉本 星子(文化人類学)
15:55~16:05	休憩(10分)	
16:05~16:35	討論	
16:35~16:50	休憩(15分)	
16:50~17:40	総会 第20回木村重信民族芸術学会賞授賞式	

第2日目 4月23日(日)

9:30~12:05	一般発表 (発表25分、質疑応答10分、入れ替え5分)	
9:30~10:05	バルトークの《ピアノ・ソナタ》第3楽章における民俗器楽の特徴-何を、どのように取り入れたか	木村 優希(音楽)
10:10~10:45	真境名由康の創作における大和芸能の摂取-創作舞踊「わたんじやー舟」と「石井の七福神」(福島県二本松市)	児玉 絵里子(芸術学)
10:50~11:25	ファウラー・ミュージアムとオールマイティ・ゴッド-「How Do You See This World?: The Art of Almighty God」展覧会より	森 昭子(人類学)
11:30~12:05	中国芸術人類学の課題と可能性-資源・身体・協働の先へ	丹羽 朋子(民族学)
12:05~13:15	休憩(70分)	
13:15~15:10	一般発表	
13:15~13:50	現代スウィック教社会における大衆宗教版画の展開-ナショナルリズムから偶像崇拜論争へ	池田 篤史(美術)
13:55~14:30	西洋に渡ったアジアの「宣教美術」-1920~60年代を中心に	古沢 ゆりあ(美術)
14:35~15:10	前衛書家井上有一の制作姿勢と身体性-1962年の制作メモに基づいた一考察	向井 晃子(美術史)
15:10~15:20	休憩(10分)	
15:20	閉会の挨拶	
15:30~16:30	南山大学レーモンド建築見学(自由参加) 案内:濱田 琢司	

*会報掲載のプログラムにおいて、23日の発表者児玉絵里子さまのお名前に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。